

## 平成26年度理事会（総会）議事録（修正版）

日時：平成26年1月19日（日） 13時～16時15分

場所：クーポール会館

出席者：出席役員60名、委任状：13通、代理1名、顧問2名、オブザーバー2名

### 会長挨拶

おめでとうございます。昨年は皆様の協力で無事に過ぎました。今年も昨年同様頑張っていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

### 1. 平成25年度事業報告（落合理事長）

理事会資料に基づき平成25年度事業報告全般を説明した。

- ・県連主催の大会は雨天による中止もなく予定どおり実施できた。
- ・東海レディース大会、国体東海ブロック大会は西部地区の方の協力により、無事に実施できた。

#### 各委員会からの報告

##### (1) 草薙運動場利用促進協議会の報告（市川副会長）

新体育館の設計が終わり、着工前の各競技団体の利用に関する会議が開催され出席した。

要望が多すぎてまとまらなかった。またテニスコートは3～4面ぐらいしかできないため、あまり大きな大会はできない。

##### (2) 34回国体東海ブロック大会の報告（小林総務委員長）（漆畑審判委員長）

- ・結果：少年男子は予選なし、少年女子2位、成年男子3位、成年女子4位であった。

技術力の向上に向けて頑張ってもらいたい。

- ・大会での審判に不手際があり、その内容について掲載された日連発行のソフトテニス機関誌の記事を紹介した。今後、気を付けていきたい。

##### (3) 強化委員会からの報告（伊藤強化委員長）

27年度和歌山国体からシングルス採用による各種別の対応について

「国民体育大会ソフトテニス競技における参加人員の見直しについて」資料により説明

- ・高体連は本格的に導入されていない。ハイスクールジャパンカップ県予選を参考にしていきたい。
- ・成年男子は若手選手を育成していきたい。県シングルス、東海シングルスを参考にする。
- ・成年女子はシングルスが重要なポイントになる。実業団はないので学連選手を強化したい。
- ・今後代表選手選考基準の見直し、県シングルスを秋から春への前倒しを検討していきたい。

##### (4) 広報委員会からの報告（村中広報委員長）

要覧の発行について、各協会に記事の作成、広告の協賛、会員への配布のお願いをし、ご協力いただいた。広告料は310,000円集まり、予算内で発行することができた。

記載漏れと訂正箇所があり、別紙「25年度要覧訂正のお願い」配布し、訂正をお願いした。

(5) レディース委員会からの報告（市川副理事長）

- ・全日本レディース大会 予選リーグ2位、決勝トーナメント3位になった。
- ・11月12日に東部地区および西部地区で練習会を実施した。
- ・11月16日にレディース委員会を開催した。
- ・1月26日に静岡市中央体育館で中央練習会開催予定

(6) 小学生委員会からの報告（渡瀬副理事長）

- ・山梨県との対抗戦は今年から正式になった。
- ・西日本小学生選手権大会を平成31年～33年の3年間、静岡県で開催することになった。開催月は未定であるが、雨天に備えドームのある花川コートで実施したい。

(7) 指導者育成に関する事業報告（石黒競技者育成プログラム推進委員会マネジメント部会長）

- ・スポーツ指導員養成講習会を5回実施し、26名が受講を終了した。
- ・12月14、15日には優秀指導者講習会を全日本U17女子監督の岡村さんを講師に招き芝川中学校体育館で実施した。

(8) 東・中・西部連絡協議会からStep1-2の報告を行った。

2. 平成25年度収支決算報告(落合理事長)

理事会資料「平成25年度収支決算書」により、予算と決算の差額が多い項目を中心に説明をし、承認された。

<主な増減>

- ・指導者研修会の実施が12月になったため、26年度の計上となり収支とも減額となった。
- ・国民体育大会の参加が2種別から1種別による収支とも減額となった。
- ・要覧広告料の収入が増額となり、要覧の作成費が減額となった。

3. 平成25年度収支決算監査報告（榛葉監事）

12月8日に、さんりーな会議室にて監事3名により監査を実施した。

監査の結果、会計帳票類は適切に処理されており、決算について相違ないことを報告した。

4. 平成26年度事業計画提案（落合理事長）

(1) 平成26年度日本ソフトテニス連盟事業計画を説明。

- ・全日本社会人団体選手権大会の開催の検討  
実業団とクラブチームによる大会の検討
- ・全日本団体選手権大会の開催の検討
- ・全日本混合ダブルス選手権大会の開催の検討  
県連盟でも県混合ダブルス選手権大会を開催していきたい。
- ・支部小学生大会への新規補助（1支部30,000円）
- ・支部レディース大会への補助は打ち切り、全日本連盟に一括補助する。

- ・引退後の中学生のみならず、社会人を対象として愛好者増加対策事業を推進する。  
計画実施した支部には助成する。（1支部150,000円）
- ・国際普及親善交流を目的にした活動に補助する。（50,000円）
- ・暴力根絶の徹底を図る。
- ・ダンロップ社製のソフトテニスボールが日連で公認され、発売は4月頃の予定。
- ・都道府県対抗中学生大会でのダブルスとシングルスの出場選手の入替およびシングルス出場選手の変更は認めない。
- ・全国小学生大会のシングルスは選手変更を認めない。
- ・ユニフォーム着用基準の中の「シューズは白を基調とする」を「ソフトテニスに適した」とする。

(2)平成26年度県連盟事業計画（案）提案（落合理事長）

- ・理事会資料により静岡県ソフトテニス連盟の事業計画を説明し、承認された。
- ・26年度大会・行事予定は、配布した資料に変更等があれば事務局へ報告する。

5. 平成26年度県連盟収支予算（案）提案（落合理事長）

理事会資料により平成26年度収支予算の内の25年度決算と差の多い項目を中心に説明し、承認された。

<主な増減>

- ・東海大会の静岡開催大会減による収入の減
- ・指導者研修会の会計年度が25年から26年の変更により収入増
- ・小学生大会、国際親善大会の新規補助金の収入増、
- ・レディース大会補助の取り止めによる収入減
- ・国体への2種別出場を目標にし、補助金および大会費の収支とも増
- ・東海ブロック大会は26年度他県開催のため補助金収入減
- ・一般、高校、中学、小学生、レディースの強化費の増
- ・山梨・静岡小学生対抗戦の実施による大会費の支出増
- ・国際親善活動費、愛好者増加対策事業費の新規事業による支出増
- ・要覧作成が26年度ないため、印刷支出減
- ・雑費としてワイヤレスメガホン購入予定

<その他>

岩本副会長より、国際親善活動の専門委員会設置の要望があり、3月の常任理事会でメンバーを決定することとした。

6. スポーツにおける暴力の根絶にむけての諸施策の検討について（落合理事長）

日本連盟が作成した指導基本規定を事前に配布したため、詳細な説明を省き質疑応答で確認をした。

- ・普及委員は各副理事長を主体に選考する。
- ・救済申立処理委員会委員は第三者を含め会長が指名選任する。3月の常任理事会で決定する。
- ・中体連、高体連での案件でも県の会員登録者であるため、県連も関わっていくことになる。
- ・噂のみでは対応しない。行為を見た事実があれば、受付し事実を本人に確認する。
- ・あってはならないことなので経費予算は計上しないが、案件が発生し、対応が必要であれば、予備費で対応する。
- ・周知は県連ホームページやメールで実施していく。

## 7. その他

### (1) 地域スポーツ指導者協議会ソフトテニス部会について（落合理事長）

地域スポーツ指導者協議会ソフトテニス部会が実施している指導者研修会および日本体育協会スポーツ指導者表彰について、配布した「静岡県体育協会組織図」を基に説明し、今後は県連盟により指導者研修会を実施し、また日本体育協会スポーツ指導者表彰の選考もすることとした。

### (2) 鷲頭副会長より、表彰者の決定方法について常任理事会における決定でなく、表彰者選考委員会設置の提案があり、検討することとした。

### 閉会挨拶（岩本副会長）

長時間に亘りありがとうございました。おかげさまで県連の運営がスムーズにできています。年齢層も地域も幅広い普及とレベルアップをお願いします。また国際親善にもご協力をお願いします。

理事会終了後、25年度の功労者、優良団体、ランキング、優秀選手、優秀団体等の表彰を行った。